

お客様の要望をカタチにする。  
確かな技術力で急成長を続けるモノづくり企業が  
これからの太陽光発電事業のスタイルに変化をもたらしていく。

自社で開発したノンフロン自然冷媒ガス「G-POWER」が全国で導入され、急成長を続けるグローバル・リンク株式会社。確かな技術力を生かしたフレキシブルな商品展開で、太陽光発電業界でもその存在感を強めている。

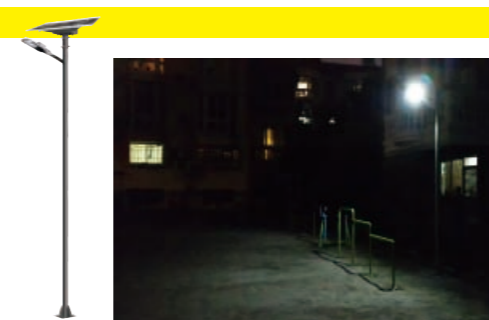
文/大根田康介

「当社が絶対的な強みとしているのは、自分でモノづくりができる事。お客様のご要望を、即座に製品として反映できるのです」

PRODUCTS



メガソーラー上空からの撮影に最適な、高解像度のカメラを搭載したラジコンヘリコプター。最長25分の飛行が可能。



曇りや雨の日でも、5日間点灯可能なソーラー街路灯は、約10年間メンテナンスフリー。太陽光発電所の周りの防犯対策にも。



広いメガソーラー発電所内の敷地の移動には、1回の充電で最大約100km走行可能な次世代環境型電動スクーターを提案。

**モノづくり技術を活かし  
発電事業をもっと快適に**

同社はもともと、小型太陽光発電と蓄電システムを組み合わせた「G-SOLAR」を2011年に発売し、住宅、オフィス向けに400Wから1・2kWまでのシステムを販売してきた。その後メガソーラーにも進出し、2014年9月末で20MW（施工申請中など含む）を達成する見込みだという。システム設計から稼働後の保証・メンテナンスまでサポートする体制を整え、モジュールにおいては10年間で92%、25年間で85%の高い出力保証を実施することで、信頼を集めている。

さらに特筆すべきは、多くのメーカーが見落としがちな、メガソーラーの点検や防犯の手段に目をつけていること。これらをより手軽にし、発電所の運営を快適に行うための製品も次々と開発している。

「1つは、空撮用ラジコンヘリコプターです。高解像度のカメラと、最大25分の飛行能力を持つ大容量のバッテリーを搭載しています。地上からメガソーラー全体を見渡すのは難しいですが、これなら上空から俯瞰できます。また、システムの建設後、『夜暗くて防犯が心配だから、灯りが欲しい』というお客様の声を多くいただき、ソーラー街路灯も開発しました。曇りや雨の日でも5日間

**オゾン破壊係数ゼロ！  
エコな新技術が全国へ**

自社で開発したノンフロン自然冷媒ガス「G-POWER」が全国のドラッグストア、デパート、外食チェーン、旅客鉄道など幅広い業種の企業に導入され、急成長を続けるグローバル・リンク株式会社。その売上高は、昨年度と比べ10倍にも成長しているという。

「新自然冷媒ガスは各メーカーによって開発されてきましたが、弊社の『G-POWER』が他社製品と決定的に違うのは、オゾン破壊係数がゼロ（※1）、地球温暖化係数も1（※2）であることです。」

そう語るのには、代表取締役社長の富樫浩司氏。最先端環境開発研究のエンジニアとして活躍してきた経験を活かし、環境・エネルギー分野に特化した製品を次々と開発する。「エアコンや冷蔵庫、冷凍機などには熱（冷熱）を搬送するため、必ず冷媒が使われます。冷媒に使いやすい物質としては御存知の通り、まずフロンが挙げられますが、オゾン層の破壊など地球環境への影響を考え

ると、本来はCO<sub>2</sub>、アンモニア、空気、水といった自然界にもともと存在する物質を使うのが理想的で、これらを総じて『自然冷媒』と言います。その中でも、当社の製品はCO<sub>2</sub>の割合を増やし、可燃性・毒性のないCO<sub>2</sub>冷媒に対応しています。」

さらに、空調・冷蔵・冷凍の使用電力の最大50%、平均で29・7%の削減が期待できるという点は、施設運営において大きなメリットとなる。既存の設備に取り付けられる為、設備の交換が不要でコスト削減でき、また熱交換率が高いため経済的だ。

2014年2月末、長年の経験を経て「G-POWER」はついに完成し、現在は自社工場にてガスをブレンドする量産体制に入り、国内外で8件の特許申請を済ませている。

「すでに業務用大型冷凍・冷蔵システム、LEV用密閉式カーエアコンなどで使われていますが、特長を最大限に活かせるのがヒートポンプ式給湯機です。従来の冷媒ではお湯の温度は60℃が限界でしたが、『G-POWER』なら90℃まで温度を上げることができ、一層の電力削減減を可能にしています。」



グローバル・リンク株式会社  
代表取締役社長  
富樫 浩司氏

COMPANY DATA



グローバル・リンク株式会社  
本社：東京都千代田区有楽町1-12-1  
新有楽町ビル8階  
☎03-6269-9660  
globallink.co.jp

点灯可能で配線工事不要。約10年間メンテナンスフリーで、停電時でも明るく光るので地域の安全も確保できます。その他に、蓄電池の技術を活かし、当社オリジナルの次世代環境型電動スクーターも開発しました。200台ほど出荷しましたが、当社のメガソーラーを設置されたお客様には、無償で1台差し上げております。広大な敷地を歩いて見回るのは大変なので、そうした観点から保守点検の移動の際などに重宝されております。」

同社は電力コスト削減量、簡便性、顧客満足度をより一層高めていくことで、今年度は売上高30億円を見込み、来年度は50億円、再来年度は80億円まで伸ばすことを目標に掲げる。富樫社長自らが設計図面を描き、開発に携わることで、顧客の要望を即座に製品として反映できる。「自分でモノづくりができる」という絶対的な強みによって、次々と生み出される製品を武器に、同社の存在感はさらに増していくだろう。